

# 水の館プラネタリウムインフォメーション

## 上映 星空解説「今夜、なにがみえるかな」(2019夏~秋)

夏の夜、暗い夜空を見上げると天の川が大きく星空を横切っています。

都会では見えにくくなった天の川ですが、その近くにはさそり座やくちょう座、七夕で有名な織姫星や彦星も明るく輝いています。そんな夏の夜空を紹介します。

上映期間:7月13日(土)~10月6日(日)まで

## 上映 テーマ番組 「天の川をめぐる…」

天の川という言葉に、人は満天の星を想像し雄大な自然の姿を感じます。ところで天の川って何でできているのでしょうか。たくさんの星…?

天の川について語ってきたことや、最新の天文学で見えてきた天の川や銀河の様子を紹介します。

上映期間:7月13日(土)~10月6日(日)まで



©NASA

## event プラネタリウムで生演奏を聴こう!「ソノライフ」コンサート

プラネタリウムの満天の星の下、ソノライフがコンサートを開催します。夏休みなので、名作映画やアニメの主題歌のなかから、お子さまに楽しんでいただけるような曲を歌入り、インストでお届けいたします。美しい映像と共に、癒しの歌声をお楽しみください。

歌と演奏:ソノライフ 星空解説:駒井 仁南子

日時:8月4日(日)①11時~ ②13時~ ※開演1時間前から発券

費用:300円 定員:各回先着50名

※当日、定時上映は15時・16時のみ行います。

問合せ:水の館 04-7184-0555



## 定時上映

土・日・祝日(年末年始を除く)

テーマ番組:10・13・15時~ 星空解説:11・14・16時~

※夏休み期間中(7/22~8/30)は平日も1日2回(14時と15時)定時上映を行います。ただし、毎週水曜は定休日です。

## 団体上映

平日に限り、10名以上の団体はプラネタリウムを貸し切ることができます。過去のテーマ番組も上映可能です。(要予約:2日前迄・水曜日および年末年始を除く)  
※夏休み期間中は平日午前のみとなります。

●上映時間:各回ともに約20分 ●定員:50名 ●料金:中学生以下無料、高校生以上1回100円

プラネタリウムのお問い合わせ先:手賀沼親水広場 水の館 TEL:04-7184-0555 FAX:04-7185-5869

## 手賀沼親水広場~新しくなった「じゃぶじゃぶ池」で遊ぼう!

手賀沼親水広場「じゃぶじゃぶ池」が新しい遊びのスポットとして生まれ変わります。

水をきれいな状態に保てるよう、浄化装置を新しくし、小さなお子さまも安全・安心に遊ぶことができます。

さらに、樹木を切り開いて見通しを良くし、池の周囲で過ごしやすいよう、舗装路やベンチ、パラソルを設置し、保護者の方が見守りやすいようになっています。自然豊かな手賀沼を近くに臨みながら、楽しく水遊びができる新しい『じゃぶじゃぶ池』に、ぜひお越しください。夏休み期間は、かき氷やフランクフルトなどの移動販売が出店する予定もあり、おいしいフードもお楽しみいただけます。

### <水遊びができる期間および時間>

7月20日(土)~10月14日(月・祝)

9時30分~16時30分

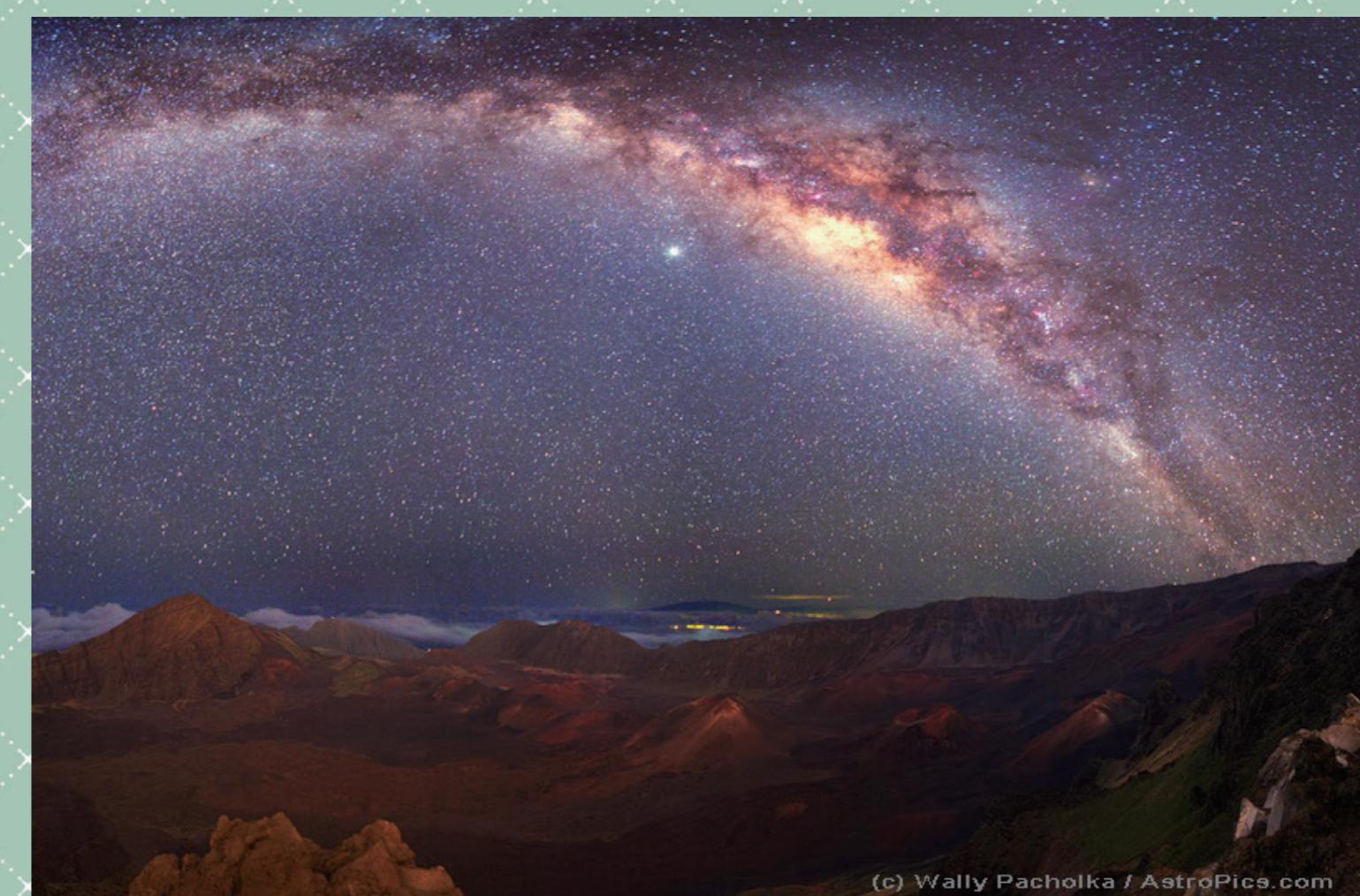
※塩素消毒などを実施する期間です。



### <利用上の注意>

- ・上記の時間以外の利用はご遠慮ください。
- ・お子様の安全確保のため、必ず大人の方が付き添って目を離さないようにしてください。
- ・滑りやすいので、転ばないようにご注意ください。また、水の事故に十分注意してください。
- ・プールではありませんので、泳いだり、顔をつけたりすることはお控えください。
- ・犬や猫など、ペットを池に入れないでください。
- ・ゴミ箱はありませんので、お持ち帰りください。
- ・衛生上の観点から、おむつを着用しての利用はご遠慮いただいております(水遊び用のおむつを含みます)。ご理解、ご協力をお願いいたします。

～水の館プラネタリウムの番組と、この夏、我孫子で見られる星座の情報誌～



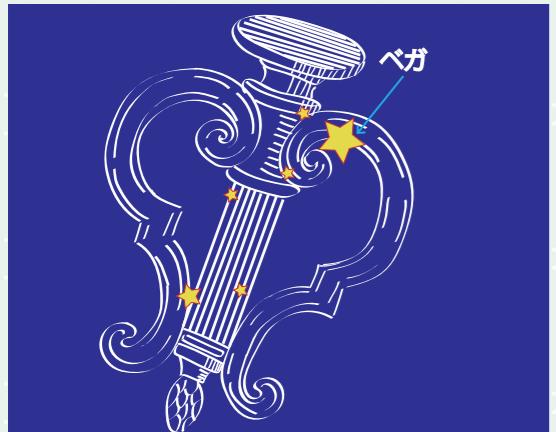
(c) Wally Pacholka / AstroPics.com



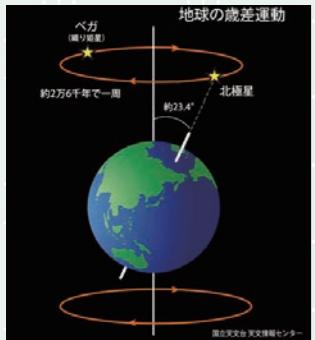
「リワイ、マウナケア山と天の川  
とってもきれいだね~!」

# 星座の物語 ~神話の世界をのぞいてみよう~

## ★こと座★

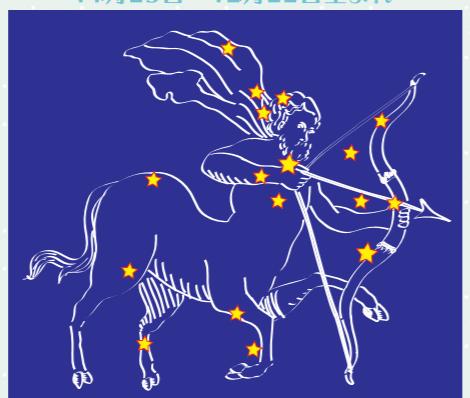


神話の時代、冥王の心を動かすほどの腕を持っていた奏者のたて琴がモデルとされ、織姫星とも言われるベガを持つ星座です。ベガは地球から26光年ほど離れたところで太陽の50倍もの明るさで輝く一等星です。今から1万2000年後、ベガは歳差運動※の影響で北の空で輝くようになり、北の目印となることでしょう。

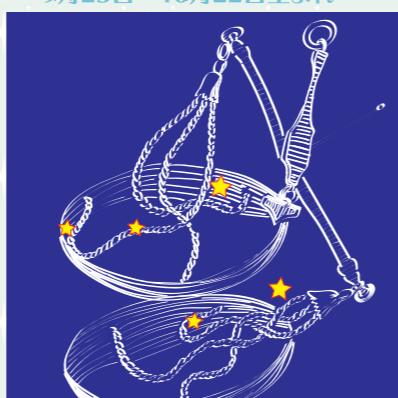


※地球の地軸(自転軸)は、公転面に垂直な方向に対して半径約23.4度の円を描くように移動し、約26000年の周期で一回りしています。このような地球の運動を「歳差(さいさ)運動」と言います。(引用元: 国立天文台ウェブサイト「よくある質問」) また、テーマ番組「プラネタリウムで時空旅行」でより詳しくご覧いただけます。

## ★いて座★ 11月23日～12月22日生まれ



## ★てんびん座★ 9月23日～10月22日生まれ



正義感が強くとも賢いケンタウルス族のケイローンの姿で、上半身が人間、下半身が馬という不思議な姿をしています。彼は多くのギリシャ神話の英雄にその知識を授けました。黄道12星座のひとつで、その起源は古く、遠くシュメール文明のころ(今から3000年以上前)までさかのぼることができます。

黄道12星座のひとつです。正義の女神、アストレイアが持つ死者の魂の善悪をはかる天秤で、悪に傾いたものは冥界に送られる…と神話は語ります。また、かつては太陽が天秤座にかかり、昼夜の長さが等しくなるのが秋分とされていたことを由来とする説もあります。星々の神話はギリシャやローマ、発祥のメソポタミア地方など、その土地の神話と結びつきながら、時代によって語られる内容も変化してきました。その為に、ひとつの星座にいくつもの物語が存在しているのです。

2019年8月中旬21時の星空

北

東

西

南

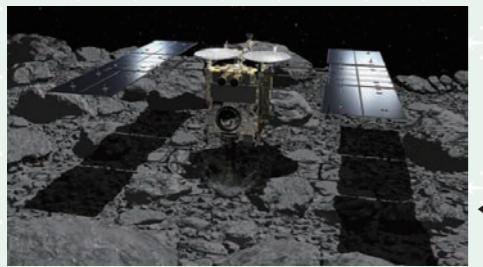
天体情報: 国立天文台 天文情報センター

## 2019年夏の天文イベント ~星空を見上げてみよう~

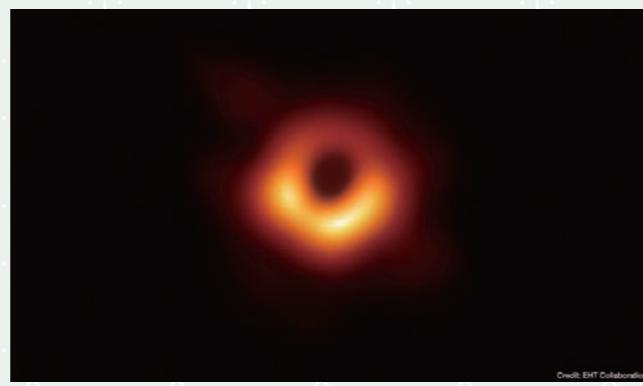
日付	天文現象	説明
7/28	ヒアデス星団食	食とは、星が月によって隠される現象のことです。ヒアデス星団は4等星ほどの星の集まりであり、いくつもの星が月に隠されています。ただ夜明けの現象であること、消える星が少し暗いことから双眼鏡などで観察が良いかも知れません。
8/7	旧暦の七夕	江戸時代以前に使われていた暦を旧暦と言います。日本の伝統行事の多くは旧暦を基準にしています。旧暦の七夕(7月7日)は今年の8月7日になります。今の暦で7月7日は梅雨時でお天気が悪い日が多いのですが、昔は今の8月に入つてから行われていました。お天気も梅雨時より晴天率が高く、星を見上げるのも適した時期に行われていたのです。
8/13	ペルセウス座流星群	毎年、お盆の頃に見られる流星群です。暗くて月明かりのない条件の良いときは1時間に50個ほどの流れ星を見ることができます。今年は月明かりがあり条件は良くありません。13日の日の出前の数時間が見頃になりそうです。
9/13	中秋の名月 (十五夜)	昔から月見をして楽しんだ日になります。旧暦の8月15日にあたります。今使っている暦と旧暦は1年で1ヶ月ほどずれるため、9月7日～10月8日の間に現れる満月を中秋の名月としています。

## 星空ギャラリー (プラネタリウム横)

テーマ番組に連動して、銀河や天の川の説明を行います。また夏休みの宿題にも活かせる、はやぶさ2の活躍など最新の宇宙情報なども紹介します。



ブラックホール▶



◀HAYABUSA2  
©AKIHIRO IKESHITA

## 星空ミニクイズ~天の川銀河にはどれだけの星がある?~

毎日届く新聞の文字の数を数えると1日分で約30万文字。

では天の川銀河にある星の数を新聞の文字の数で想像するとどの位の新聞が必要になるでしょう?

- ①1ヶ月分の文字の数
- ②1年分の文字の数
- ③1000年分の文字の数

さて答えは?水の館3階のプラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2019夏のスタンプ



季節の星座スタンプをおしてみよう!  
※スタンプはプラネタリウムの横にあるよ!